



会報

札幌訪問看護 ステーション協議会



発行者 木浪江里子

訪問看護ステーションピンポンハート

札幌市手稲区曙5条2丁目7-30 あけぼのコートハウス1階

日頃より会員の皆様には札幌訪問看護ステーション協議会の活動、運営にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。今年は雪解けが早く、春まさにさけなわの今日この頃となりました。4月下旬には開花宣言となるようですが、今年もゆっくり花見とはいきません。

2020年度から当会会長を務めさせて頂いておりますが、新型コロナ感染症拡大防止のため研修は全てオンラインとなり、皆様には直接ご挨拶できず申し訳ありません。新型コロナ感染症は昨年から拡大し、すでに1年以上経過しました。4月中旬以降には、私たち訪問看護師もワクチン接種がようやく開始されるようですが、毎日感染者数が確認されており、まだまだ終息にはほど遠い状況です。この間、濃厚接触に該当、クラスター発生時の不安など感染対策を行いながら日々の訪問看護活動には、大変なご苦労をされておられることと思います。精神的な負担も非常に大きく、時には誹謗中傷や風評などの被害、ご家族への配慮や不安で一杯になるなど、経験したことの無い試練を強いられた方もいるのではないか？心のサポート体制が必要です。未だ緊張感をもって奮闘している私たちは本当に頑張っています。お互に褒め称えたいです。

そんな中、今年度は介護報酬改定がありました。全体的にはプラス改定で、改定率+0.70%「うち、新型コロナウィルス感染症に対応するための特例的な評価0.05%（R3年9月まで）」となりました。概要としては「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら「地域包括システムの推進」「自立支援・重度化防止の取組の推進」「介護人材の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」を図るとされています。

実際、訪問看護全体で考えると、退院当日の訪問看護が算定できるようになったのは良かったのですが、看護体制強化力算、サービス提供体制力算が減算となり、更に理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による訪問は回数や報酬が引き下げられ、マイナス改定です。ステーションによっては経営的に厳しくなり危機的な状況です。

それでもコロナ禍での在宅療養、看取りが増え、地域療養者様のために訪問看護ステーションは必要とされています。私たちは感染対策を徹底しながら、多職種連携を行い、災害を見据え、ステーション間での連携を強化し、地域住民に信頼されるよう邁進していくなくてはなりません。そのためにも、訪問看護ステーション協議会は皆様に役立つよう活動していきたいと考えております。皆様のご意見やご要望を受(け)ながら発展していきたい所存ですので、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

《総会・管理者研修会のご案内》

《総会》

場所： WEB (ZOOM)

日時： 2021年5月22日（土） 13:15～13:45

《管理者研修会》

日時： 総会終了後引き続き開催（14:00～16:30）

講師： 萩原 正子 先生

一般社団法人 オフィス萩原 代表理事

テーマ：『2021年の報酬改定の内容とポイント』

今回の報酬改定を受け、今後の訪問看護の運営と展望についてお話を頂きます。



*総会・管理者研修の申し込みは、同封した書類をご確認の上、申し込みをお願致します。

宛先は、各区担当役員へ

締め切りは、5月14日（金）まで

札幌訪問看護ステーション協議会 ホームページのご案内

研修会の案内等が閲覧できます

Check it out !

<https://www.sapporohoukan.com/>



《令和2年度 研修報告》

第1回研修会

日時： 令和2年10月23日(金) 18:30～20:00

場所： WEB研修 (参加者 80名)

テーマ： 『訪問看護からはじめる「気持ちよく出す」ための排便ケア』

講師： 榊原千秋先生 合同会社プラスぽぽぽ代表

うんこ文化センター おまかせうんちっち 代表

内容： 排便はただ出すだけでなく、その人の生活の質に関わる大切なケアであること。気持ちよく出すために解剖生理学的視点や食品について、また排便ケアから地域への働きかけまで広い視点を持つ榊原先生の取り組みを学ぶ機会になりました。



札幌市在宅医療協議会合同企画

日時： 令和2年12月1日(火) 19:00～20:00

場所： WEB研修

テーマ： 『訪問診療・訪問看護感染対策実習』

講師： 静明館診療所 大友宣 先生

内容： コロナ禍において、感染対策をしながら訪問看護・訪問診療を続けることは初めての経験であり、日々不安を抱え手探りの状態で業務に当たっていたので、大友先生の講義は大きな学びになり、実際翌日から行動変容しました。利用者を守るとともに、自分と職員を守ることになり、業務継続に必要なBCP策定のためにも参考になる講義でした。これからも、医師会と訪問看護ステーション協議会の連携で研修などの開催があると心強く思いますし、共に在宅療養を支える地域づくりのためにも必要だと思いました。



第2回研修会

日時： 令和3年3月23日(火) 18:30～20:00

場所： WEB研修 (参加者 47名)

テーマ： 『コロナ禍での生活支援とメンタルヘルス』

講師： 新納 美美 先生 育ちの支援オフィスかんごの木 代表

内容： ストレスの基本からコロナ禍でのストレスまで事例を交えて講義して頂きました。

ストレスの対処は対象者はもちろんですが、セルフケアが大事とひとりでできるストレス対処法を紹介して頂きました。コロナ禍ではコミュニケーションが難しく、ストレスの要因となっているため対面による場の共有が大切ですが、まだ終息が見えづらい状況が続いている。コミュニケーション方法のそれぞれの利点を生かした組み合わせでストレスの低減につなげる工夫が必要と学び、今後にいかせる内容でした。